



平成 17 年 8 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社アオキインターナショナル
 代表者名 代表取締役社長 青木 拓 憲
 (コード番号 8214 東証・大証第一部)
 問合せ先 専務取締役 中村 憲 侍
 (TEL 045 - 941 - 4888)

「固定資産の減損に係る会計基準」の適用に伴う特別損失の発生
 及び業績予想の修正に関するお知らせ

当期より「固定資産の減損に係る会計基準」が適用されることに伴い、当第 1 四半期において下記のとおり減損損失が発生いたしました。また、平成 17 年 5 月 19 日に公表いたしました平成 18 年 3 月期中間期(平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 9 月 30 日)及び通期(平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 減損損失の総額

連結 16 億 36 百万円(単体 12 億 90 百万円)

2. 業績に与える影響

上記の減損損失につきましては、平成 17 年 5 月 19 日に公表いたしました平成 18 年 3 月期の業績予想(中間期・通期)に織込み済です。

3. 平成 18 年 3 月期 中間連結業績予想数値の修正(平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 9 月 30 日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 17 年 5 月 19 日発表)	44,620	1,470	1,130
今回修正予想(B)	46,620	2,270	30
増減額(B) - (A)	2,000	800	1,100
増減率(%)	4.5	54.4	-
前期実績(平成 17 年 3 月期中間)	42,035	2,164	1,358

4. 平成 18 年 3 月期 中間業績予想数値の修正(平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 9 月 30 日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 17 年 5 月 19 日発表)	28,270	400	1,470
今回修正予想(B)	28,270	750	2,420
増減額(B) - (A)	-	350	950
増減率(%)	-	87.5	-
前期実績(平成 17 年 3 月期中間)	27,486	778	61

5. 平成18年3月期 通期連結業績予想数値の修正（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A） （平成17年5月19日発表）	98,670	8,150	3,800
今回修正予想（B）	100,670	8,950	4,300
増減額（B）-（A）	2,000	800	500
増減率（%）	2.0	9.8	13.2
前期実績（平成17年3月期）	92,870	7,808	3,128

6. 平成18年3月期 通期業績予想数値の修正（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A） （平成17年5月19日発表）	67,800	5,500	2,650
今回修正予想（B）	67,800	5,850	1,950
増減額（B）-（A）	-	350	700
増減率（%）	-	6.4	26.4
前期実績（平成17年3月期）	63,852	4,905	810

7. 修正の理由

修正は主に中間期に係るものです。

- (1) 売上高は、連結子会社の株式会社トリイの当社との合併のための完全閉店御礼セールが好調に推移したこと等により連結売上高が20億円増加し、上記のとおりとなる見込です。
- (2) 経常利益は、売上高増加の影響の他、単体でのリニューアル計画の変更（期初において通常期よりも大きいリニューアルを計画しておりましたが、通常期ベースに変更）による販売費及び一般管理費が3億50百万円減少し、上記のとおりとなる見込です。
- (3) 当期純利益は、経常利益が増加する一方、平成17年10月1日付で当社より連結子会社へ複合カフェ事業を営業譲渡することになったことで、単体において減損損失が新たに発生し特別損失が13億円程度増加する見込となり、上記のとおり修正いたします。

なお、本年7月14日に発表いたしましたゼビオ株式会社からの営業譲受けによる影響については、現在精査中であり上記には反映しておりませんが、今後作成する経営計画により適切な時期に開示する予定です。

（注）上記の予想は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上